

部活動の大会における集団感染事例の 主要因と対策（2021.10.19北海道教育委員会）

国立感染症研究所実地疫学研究センターが
「全国高等学校選抜アイスホッケー大会」
(8/4～8/8開催)における集団感染事例を報告



【報告書に記載されている主要因】

発熱者がいることをチームの代表者が主催者に報告しなかった

ベンチから、マスク無しで大声で応援していた

会場の控室や廊下での着替えの場面で、参加者がマスク無しで身体的距離がとれていなかったり、時に会話をしたりしていた

会場で定められていた動線を参加者が守っていなかった

大会前に行われた合宿の練習や会食で、外部の人たちと交流していた

宿泊施設で他チームの選手の部屋を訪問していた

【次の対策をお願いします】

◆主催者は

- ・大会2週間前からの健康観察の確認
- ・患者や疑い例発生時の対応準備
- ・ベンチでの大声禁止と着席の徹底
- ・控室の密な状況と換気の改善
- ・出入り口を含む会場での徹底した動線管理

◆参加チームは

- ・大会2週間前からの健康状態の確認と主催者への報告の徹底
- ・大会2週間前から、社会人や卒業生との合同練習等、外部との接触の機会については、地域のまん延状況を考慮して判断
- ・食堂や大浴場など感染対策を講じた宿泊施設の利用

※今後も引き続き、情報提供していきます。

道教委Twitterにも関連情報を随時掲載していきますので、
フォローをお願いします。



道教委TwitterのURL https://twitter.com/hokkaido_kyoiku

